

実践カリキュラム・II：特訓コース

社会人の資質を育てる「コミュニケーション・デザイン講座」（全 15 回 1,350 分）

「発信」のためのプレゼンテーション能力に加え、「相互交流」によってアイデアを高めていくワークショップを通して、総合的なコミュニケーション能力を養成します。

自らのキャリアを「デザインする」視点に立って、考える力、他者と交流する力を開発し、「自分の価値を伝える力」を獲得する特別カリキュラムです。

将来「あなたと一緒に仕事がしたい」と思われる社会人の資質を育てます。

☆オプションで、履歴書に記載できる「プレゼン・スピーチ 2 級・実技能力検定」を付加できます。

☆対象人数：約 20 名

第 1 回 講義 Why から始めよう!なぜプレゼンテーション能力が生きていく力になるのか?

コミュニケーションを必要としない仕事はない。Input, Output, Interaction の組合せが、Co-working を生み出す。社会での仕事のプロセスと成果を獲得できる能力を学ぶ。

第 2 回 講義 「インタラクション①」フィードバックの手法を獲得する

他者のアウトプットを「プラス視点」と「クロス視点」。さらに「ネガティブ Why? 視点」で他者とキャッチボールするスキルを多彩なエクササイズで学ぶ。

第 3 回 講義 「インプット①」複眼を基本とするフィールド・ノートの作り方

アウトプットを設定してから、インプット素材を収集する。それも対象を複数設定して、データや事例、ビジュアルを角度を替えてセレクトしていく手法を学ぶ。

第 4 回 講義 「アウトプット①」スピーチ実践教室・コンテンツの作り方

聞準備からデータ、エピソード、ビジュアルの駆使、クロージングの 3 部構成で、伝わるコンテンツの構成を学ぶ。

第 5 回 講義 「インタラクション②」ディベートで仮説検証力を武器にする

設定・条件の立場を変えて、攻守所を変化させて仮説を組み立て検証・説得を行うスキルを理論構成から実践論争エクササイズを経験する。

第 6 回 講義 「アウトプット②」プレゼンテーション&スピーチの 3 手法を学ぶ

自己 PR「価値観を語る」をテーマにして、①口頭スピーチのみ ②小道具・ワンビジュアルを使う ③1 枚シート（ダイアグラム）活用の、3 タイプのアウトプット法を獲得する。

第 7 回 講義 「インプット②」考える道具を見つける→アイデア発想法を 8 種類学ぶ

KJ 法・マインドマップ・マンダラート・SCAMPER・オズボーンのチェックリスト・ロジックツリー・「なぜなぜ 5 回」シート・シックスハット法を学ぶ。

第 8 回 講義 「インタラクション③」ブレインストーミングの実際

KJ 法・マインドマップ・マンダラートのいずれかをツールに、チームでアイデアを拡散、創造していく手法を学ぶ。

第9回 講義 「アウトプット③」表現力演習→劇団ひとりエクササイズ

脚本家・演出家・アートディレクター・俳優を、自分一人でこなす方法を会得する。自己紹介から本格プレゼンまでを応用できる技術を学ぶ。

第10回 講義 「インプット③」商品開発・サービス誕生のイノベーションを探る

イノベーションの源は、人の不満・不便の非連続的解消にある。画期的とは、当たり前の手取りであることをケーススタディから学ぶ。

第11回 講義 「インタラクション④」交渉力・調整力を武器にする

相手の利害をまず捉えてから、自分のスタンスを決める。交渉は勝ち負けではなく「合意」がゴール。アンカーの降ろし方から、複数の選択肢までを学ぶ。

第12回 講義 「アウトプット④」スライド技術実践。アナログで考えてデジタルで表現

無印の4コマノートで起承転結をセッティング。デジタルには、アウトラインからスライドに変換する方法などを実践的に習得する。

第13回 講義 「インプット④」選ばれる人の見た目・印象戦略を自分のものにする

見た目に中身が表れる。役員面接で勝ち抜く印象戦略を、理論とエクササイズで身に付ける。自分の情報を見つめ続ければ「自信」を生み出すことを学ぶ。

第14回 講義 「アウトプット⑤」最終仕上げ。自分プレゼン「Aチーム10人」を審査する

「君と一緒に仕事がしたい」「君から買いたい」と言わせるのがゴール。自分を伝える力は獲得できたかを、相互フィードバックで客観視する。

第15回 講義 「アウトプット⑥」最終仕上げ。自分プレゼン「Bチーム10人」を審査する

「君と一緒に仕事がしたい」「君から買いたい」と言わせるのがゴール。自分を伝える力は獲得できたかを、相互フィードバックで客観視する。